保健便り



令和5年10月30日

渋川青翠高等学校

◆ 1 1月8日は「いい歯の日」です



11月8日は『いい歯の日』 です。今年度の歯科検診の結果、受診が必要な人には「歯 科受診のおすすめ」を配付し



ていますが、受診は済んでいるでしょうか。むし歯や歯周病は 放置していても自然に良くなることはありません。とくに、歯が 抜ける原因の第1位とされている歯周病は、進行すると歯を 支える骨まで溶け、最後には歯が抜けてしまいます。また、歯 周病は口臭の原因とも言われています。学校においては、学 校保健法に基づき、年に1度、定期健康診断のなかで歯科検 診を行っています。ただし、望ましいとされる歯の定期健診の 頻度は「3か月に1回程度」が理想とされています。と言うの

も、むし歯や歯周病(歯肉炎) の進行はとても早いため、年

の1回の受診では手遅れになっている場合もあるためです。歯科健診でむし歯がなかった人も、定期的に歯科医院にて、歯と口腔の状態を診てもらうとよいでしょう。



◆体調管理に努めましょう

10月末から11月上旬にかけては、インターンシップ(第1学年)や沖縄修学旅行(第2学年)、1日修学旅行(第3学年)と、行事が続きますので、感染症予防に努め、体調を整えましょう。

全国的には、新型コロナウイルス感染症は次第に減少傾向にありますが、患者数は多い状態が続いているため、引き続き感染対策をお願いします。また、インフルエンザについては先月に続き拡大傾向にあり、インフルエンザ警報が発令され



ている地域も出ています。他県に行く際は、その地域の感染状況に十分留意してください。

さらに、咽頭結膜熱が過去十年でその患者数が最多となっているそうです。咽頭結膜熱は、「プール熱」とも呼ばれ、主に高熱、結膜炎、咽頭痛を症状とし、夏場に多くみられる感染症です。但し、最近では以前の流行状況のパターンと変わってきており、夏場以外にも流行することもあります。咽頭結膜熱は出席停止の感染症になります。医師より診断を受けた際には、学校(担任)まで連絡をお願いします。

気持ちも、換気でリプレ

換気をしないと・

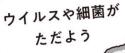
二酸化炭素が 増える



人は1日に480ℓもの二酸化炭素を出します。 空気中に二酸化炭素が増えると酸素が不足し、 頭痛や吐き気の原因にもなります。



窓を閉めきっていると結露ができやすいです。 結露ができると、カビやダニが発生しやすく なり、アレルギーなどの原因になります。

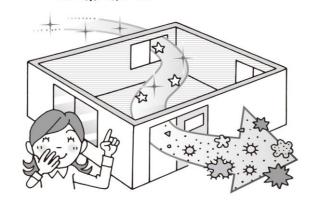




室内にウイルスや細菌がとどまって、風邪やインフル エンザにかかりやすくなります。



汗やお弁当などのにおいがこもって、 嫌なにおいになります。



換気のしかた

空気の「入口」と「出口」ができるように、 2か所以上の窓を開けましょう。また、部屋 の対角線の窓を開けると空気の通り道が できて、効果的に換気できます。

色覚健康相談(色覚検査)について

本校では、1年生の希望者を対象に色覚健康相談(色覚検査)を実施しています。今年度は10月に実施 しました。色覚検査は、他学年の生徒でも保護者の同意(申し込み書を提出)があれば受けることは可能で す。希望する生徒がいましたら、保健室まで相談に来てください。